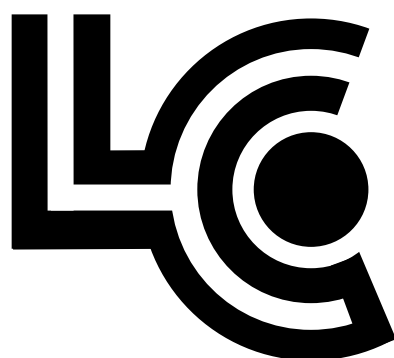


令和8年度
(2026年度)

要 覧



横 須 賀 市 教 育 研 究 所

目 次

令和8年度 教育研究所の運営の基本方針・重点・	1
1 令和8年度 教育研究所運営に関する懇話会構成員	1
2 人的構成	1
3 施 設	1
4 予 算	1
5 組 織 ・ 事 業	2
（1）研修・調査研究担当	3
（2）人権教育担当	12
（3）管理運営係	13
（4）教育情報担当 ICT 活用推進担当	14
（5）教育情報担当 ICT 環境整備担当	16
6 沿 革	17
7 業務分担	19

※ 表紙のマークは、横須賀市を表わす**Y**と教育（education）の**E**、そして、センターとしての**●**で構成されている横須賀市教育研究所のシンボルマークです。

令和8年度 教育研究所の運営の基本方針・重点

本市の学校教育活動全体の質的向上を目指し、教職員の育成と調査研究を行い、多様な教育課題に対応する学校への総合的支援を行う。

- 研修体系に沿った、教職員の資質能力向上と人材育成
- 調査研究成果の発信、カリキュラムセンター機能の更なる充実
- 人権教育の推進
- 教育の情報化推進
- 環境整備及び適正な事務執行
- 教育指導課等他課との連携を深めた運営

1 令和8年度 教育研究所運営に関する懇話会構成員

小学校校長会長
中学校校長会長
横須賀総合高等学校長
小学校教育研究会長
中学校教育研究会長
教育委員会事務局（教育指導課長）

2 人的構成

所 長	1名
係 長	1名
主 査 指 導 主 事	2名
指 導 主 事	3名
主 任	1名
担 当 者	1名
会計年度任用職員	6名
長 期 研 究 員	1名

【教育情報担当】

担 当 課 長	1名
主 査	1名
指 導 主 事	2名
副 主 査	1名
主 任	4名
会計年度任用職員	3名

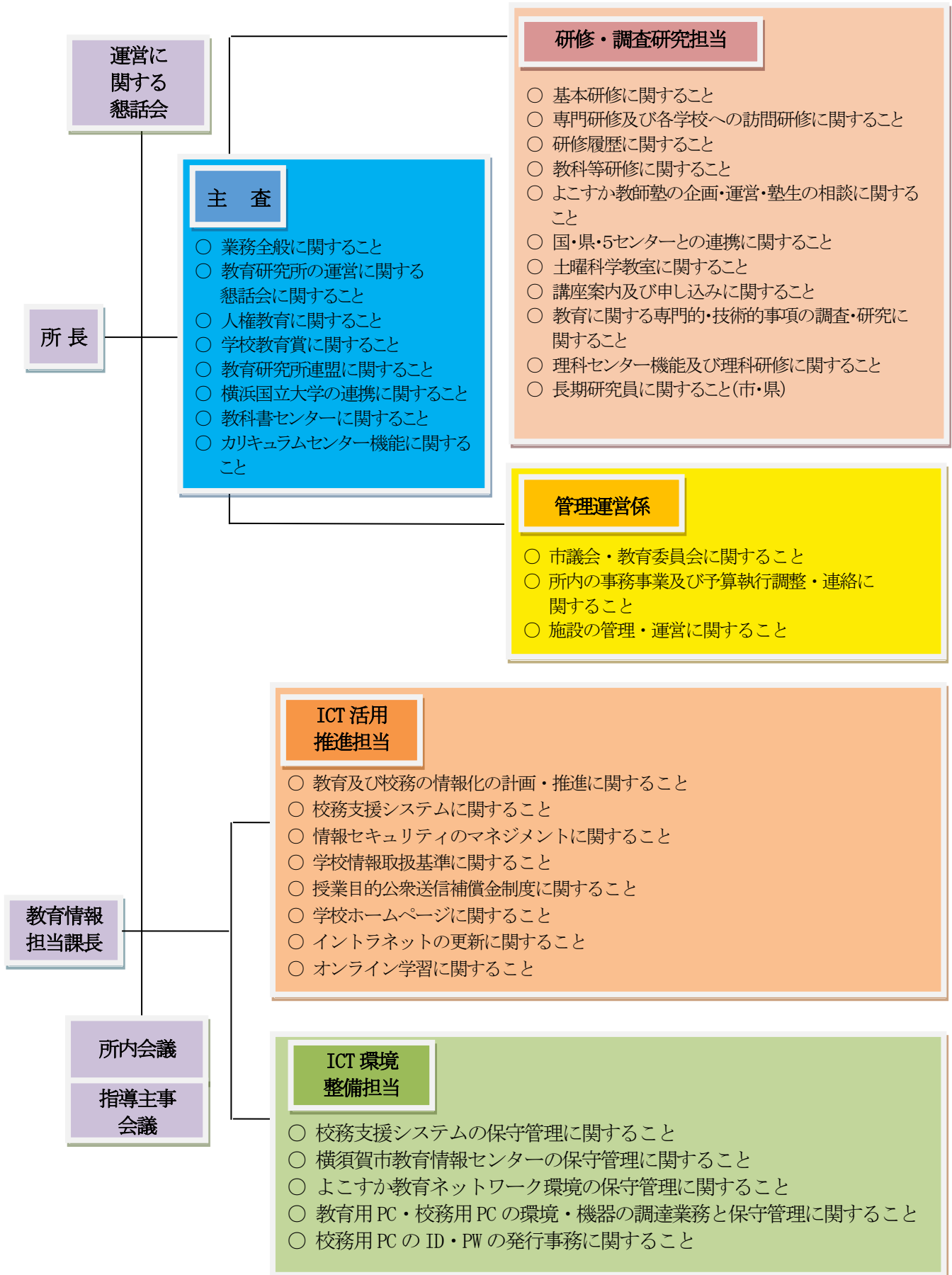
3 施 設

敷地	10,137 m ² （南図書館・南体育館含む）
建物	3,527 m ² （南図書館含む・1,797 m ² は専有）
2階	所長室／研修・調査研究室／事務室（管理運営係）／教育情報担当／会議室／印刷室／準備室／講師控室／長研研修室
3階	第一研修室／第二研修室／図書室／図書資料室／理科担当事務室／理科実験室 理科準備室／情報教育研修室／YKネット事務局室

4 予 算（教育研究所所管事業総予算（当初予算））

令和8年度 2,144,309 千円

5 組織・事業



(1) 研修・調査研究担当

【目標と方針】

1 教師として求められる資質・能力、指導力の向上を図る

- (1) 基本研修において、経験年数に応じた資質・能力及び指導力の向上を図る
- (2) 選択研修において、学力の向上に向けた教師の授業力向上、教育課題、学校づくりなど系統的な研修講座を提供する

2 学校組織の活性化と人材育成を図る

- (1) 各学校において組織的、計画的な学校運営や人材育成が行われるよう、基本研修において OJT を推進するとともに、職に応じた研修において学校運営や人材育成に係る実践的な研修内容を充実させる
- (2) 各学校において協働性を生かした校内研修・研究が推進されるよう積極的な訪問支援研修を行う

3 理科研修や資料提供を通し、教師の授業力向上及び学習環境づくりに寄与し、理科教育の充実を図る

4 教育に関する専門的及び技術的事項の調査・研究を推進し、その成果を還元する

5 市内外の教育に関する研究や資料、研修図書等を収集し、発信する

【具体的な活動】

1 教師として求められる資質・能力、指導力の向上

喫緊の教育課題に応じた研修、コミュニケーション能力の向上、指導力向上を図る研修などを実施する。

- (1) 基本研修

◇初任者研修講座

目 的	教育公務員特例法第 23 条の規定に基づき、教育公務員及び社会人としての自覚を高めながら、学習指導や学級経営に必要な基礎的・基本的知識や技能を習得する。				
回	講 座 内 容	所 属	講 師		日 程
1	開講式・教育公務員としての心構えと 服務・学校環境整備	学 校 教 育 部 教 職 員 課	部 長 指導主事		4月21日(火)
2	・授業づくりの基本 ・指導と評価の基本的な考え方	教 育 研 究 所 教 育 指 導 課	指導主事		5月19日(火)
3①	水泳指導法 (小学校教諭・中学校/高等学校保健体 育科教諭)	保 健 体 育 課 市内小・中学校	指導主事 学校体育指導員		6月2日(火)
3②	部活動指導(中学校教諭・高等学校教諭)	保 健 体 育 課	指導主事		6月9日(火)
4	・人権教育 ・横須賀市の支援教育	教 育 研 究 所 支 援 教 育 課	指導主事		7月7日(火)
5	・社会人としてのマナー、 コミュニケーションスキル	ハ ー モ ニ ア	代 表	中村 真理	7月23日(木)
6	・より良い学習集団を創るための 理論と実践 ・模擬授業に向けて	横 浜 国 立 大 学 教 育 研 究 所	准 教 授 指導主事	藤原 寿幸	7月23日(木)

7①	理科室の管理と実験① (小学校教諭/中・高理科教諭)	教 育 研 究 所	指 導 主 事		7月31日(金)
7②	理科室の管理と実験② (小学校教諭/中・高理科教諭)	教 育 研 究 所	指 導 主 事		7月31日(金)
8	・資質・能力を育成する授業づくり1 ・ICTを活用した授業づくり	教 育 研 究 所 教 育 情 報 担 当	指 導 主 事		8月18日(火)
9	資質・能力を育成する授業づくり2 (模擬授業①)	教 育 研 究 所	指 導 主 事		8月18日(火)
10	資質・能力を育成する授業づくり3 (模擬授業②)	教 育 研 究 所	指 導 主 事		8月19日(水)
11	資質・能力を育成する授業づくり4	教 育 委 研 究 所	指 導 主 事		8月19日(水)
12	・子どもと向き合う環境づくり ・学校事故対応	教 育 政 策 課 保 健 体 育 課	指 導 主 事		9月8日(火)
13	横須賀を知る	横須賀開国史研究会	会 長	山本 詔一	10月20日(火)
14	グループ授業研究	教 育 研 究 所	指 導 主 事		11月10日(火)
					11月17日(火)
					11月24日(火)
					12月8日(火)
15	メンタルヘルス	サンテコンサル横浜	公認心理師	大多和二郎	12月15日(火)
16	・学校における食育 ・学校給食	学 校 食 育 課	指 導 主 事		1月12日(火)
17	学び続ける教師として ～実践報告会・閉講式～	教 育 研 究 所	指 導 主 事		2月16日(火)

※特別支援学校・高等学校教諭は神奈川県立総合教育センター研修を一部受講

◇教職1年経験者研修講座

目 的	教育公務員及び社会人としての自覚を高めながら個々の適性を伸長し、授業づくりに関する力量の向上を図る。
-----	--

回	講 座 内 容	所 属	講 師		日 程
1	年間の見通し・年間テーマ設定に向けて	教 育 研 究 所	指導主事		4月17日(金)
2	・教育公務員としての服務 ・ICT活用	教 職 員 課 教 育 情 報 担 当	指導主事	(動画視聴)	6月1日～
3	児童生徒理解をもとにした授業づくり	北 里 大 学	准 教 授	田中 保樹	7月3日(金)
4	国立特別支援教育総合研究所施設訪問	国立特別支援教育総合研究所	所 員		7月27日(月)
5	年間テーマを意識した実践交流と課題の整理	教 育 研 究 所	指導主事		9月4日(金) 9月11日(金)
6	・タイムマネジメント ・1年間の実践交流と振り返り	教 育 研 究 所	指導主事		1月15日(金)
7	年間テーマを意識した他校研究発表・公開授業参加				

※上記以外に校内研修8回

◇教職2年経験者研修講座

目 的	教育公務員及び社会人としての自覚を高めながら、これまでの経験を踏まえて自身の強みや課題と向き合い、課題解決を図るとともに個々の適性をさらに伸ばしていく。
-----	--

回	講 座 内 容	所 属	講 師	日 程
1	年間の見通し・年間テーマ設定に向けて	教 育 研 究 所	指 導 主 事	4月24日(金)
2	教育公務員としての服務 いじめと不登校理解	教 職 員 課 支 援 教 育 課	指 導 主 事	(動画視聴) 6月1日～

3	・1人1台端末を活用した授業づくり ・年間テーマを意識した実践交流と課題の整理	教 育 情 報 教 育 研 究 所	指 導 主 事		9月15日(火)
4	1年間の実践の振り返り				1月22日(金)
5	年間テーマを意識した夏季研修等選択研修受講				
6	年間テーマを意識した他校研究発表・公開授業参加				

※上記以外に校内研修8回

◇教職5年経験者研修講座

目 的	教育公務員及び社会人としての自覚を高めながら個々の適性を伸長し、カリキュラム・マネジメントを意識した授業づくりやOJTの視点を取り入れた業務の進め方について理解を深める。
-----	---

回	講 座 内 容	所 属	講 師	日 程
1	年間の見通し・年間テーマ設定に向けて・タイムマネジメント	教 育 研 究 所	指 導 主 事	5月1日(金)
2	・教育公務員としての服務 ・ICT活用 ・インクルーシブ教育	教 職 員 課 教 育 情 報 支 援 教 育 課	指 導 主 事 (動画視聴)	6月1日～
3	・「性の多様性」の理解 ・テーマ設定	ダイバーソン 教 育 研 究 所	代 表 指 導 主 事 飯田 あきる	6月26日(金)
4	「カリキュラム・マネジメント」を意識した授業づくり	慶応義塾大学 教職課程センター	教 授 藤本 和久	7月24日(金)
5	年間テーマを意識した実践交流と課題の整理	教 育 研 究 所	指 導 主 事	9月4日(金) 9月11日(金)
6	1年間の実践の振り返り	教 育 研 究 所	指 導 主 事	1月19日(火)

※上記以外に校内研修8回

◇中堅教諭等資質向上研修講座

目 的	教育公務員特例法第24条の規定に基づき、個々の適性を伸長し、指導力の向上を図るとともに、学年および学校運営における企画調整力を身に付ける。
-----	---

回	講 座 内 容	所 属	講 師	日 程
1	年間の見通しと年間テーマ設定に向けて/効果的なファシリテーションスキル	教 育 研 究 所	所 長 指 導 主 事	5月8日(金)
2	・ストレスマネジメントの理解と、同僚への配慮の仕方 ・人権教育	大草心理臨床 教 職 員 課	大草 正信 指 導 主 事 (動画視聴)	6月1日～
3	・教職員の服務 ・1人1台端末を活用した授業づくり等	教 職 員 課 教 育 情 報 担 当	指 導 主 事	6月30日(火)
4	コーチングを生かした人材育成	人材育成サポートオフィス アクティブK	人材育成 コンサル タント 廣山 容子	7月22日(水)
5	「主体的・対話的で深い学び」につながる授業づくりと授業研究の推進	東 京 大 学	教 授 藤村 宣之	7月22日(水)
6	年間テーマを意識した実践交流と課題の整理	教 育 研 究 所	指 導 主 事	9月2日(水)
7	・学校運営と支援教育 ・ファシリテーションを意識した研究協議	支 援 教 育 課 教 育 研 究 所	指 導 主 事	10月16日(金)
8	研究協議の推進(初任者グループ授業研究参加)	教 育 研 究 所	指 導 主 事	11月

9	1年間の実践の振り返り	教 育 研 究 所	指 導 主 事		1月29日(金)
10	年間テーマを意識した夏季研修等選択研修受講	教 育 研 究 所	指 導 主 事		

※上記以外に校内研修8回

◇教職20年経験者研修講座

目 的	教育公務員及び校内での中核的教員としての自覚を高めながら、個々の適性を伸長し、学校づくりや教育活動においてリーダーシップを発揮できるよう、事故の探求的な学びを教師自らがデザインする。
-----	---

回	講 座 内 容	所 属	講 師	日 程
1	発展期に求められる教職員像について 教職員の服務	教 育 研 究 所 教 職 員 課	指 導 主 事	5月12日(火)
2	夏季研修講座受講	自己研鑽のテーマに沿って夏季研修を受講 ※総括教諭は第3回を「総括教諭研修講座」にあてる		
3	夏季研修講座受講			

※ 上記以外に校内研修2回

◇経験年数に応じた養護教諭研修

新採用、1年・2年・5年・20年経験者及び中堅養護教諭（教職9年から11年経験者）を対象に実施している本研修は、神奈川県立総合教育センターとの協定に基づき、県が実施する研修も選択しながら実施する形となっている。

それぞれの研修回数の中には、校内研修の実施及び研究協議等を行う内容を含み、校内におけるOJTの促進も図れる研修を構築している。

◇経験年数に応じた栄養教諭研修

新採用、2年・4年経験者及び中堅栄養教諭（教職8年から10年経験者）を対象に実施している本研修は、栄養教諭の職務及び専門的知識等について理解を深めるとともに、食に関する指導に係る実践的指導力を身に付け、資質の向上を図るため、校内研修と神奈川県立総合教育センター等が実施する校外研修を位置づけている。

(2) 選択研修

◇スキルアップ研修講座

目 的	授業づくり、集団づくりの基本的な知識及び技能を実践的に学び、教員としての資質や指導力の向上を図る。
-----	---

回	講 座 内 容	所 属	講 師		日 程
1	特別支援学級の視点を生かす学習環境づくり	非営利活動任意団体 空に架かる橋	代 表	いるかどり	7月27日(月)
2	横須賀の実態から考える小学校外国語・外国語活動の基礎指導	東洋大学文学部 教 育 学 科	助 教	長沼 久美子	7月30日(木)
3	Next Step × Update = これからの算数授業	昭和学院小学校	教 諭	平川 賢	8月24日(月)

◇授業づくりワークショップ研修

目 的	実践的な授業づくりについて学び、教員としての資質や指導力の向上を図る。
-----	-------------------------------------

回	講 座 内 容	所 属	講 師	日 程
1	未定			
2	未定			
3	未定			

◇教育課題研修講座

目 的	今日的な教育課題について学び、教員としての資質や指導力の向上を図る。				
回	講 座 内 容	所 属	講 師		日 程
1	一歩目を支え、対話と試行錯誤で深める 学びのデザイン ～個別最適な学びと 協働的な学びの実現に向けて～	横 浜 国 立 大 学 教 育 学 部	教 授	池田 敏和	7月27日(月)
2	子どもの「やる気」と「自尊感情」を 育む心理的アプローチ ～スポーツメン タルトレーニングの視点から～	東海大学スポーツ サポート研究会	メンタルト レーニング 部門	宍戸 渉	7月29日(水)
3	教員がファシリテーターになる！ ～授業の空気感を変える技術～	O O K I W O R K S	代 表	大木 浩士	7月31日(金)

◇コミュニケーション研修講座

目 的	教師として必要なコミュニケーションスキルについて理解を深め、学校における実践方法を身に付け、指導 力向上を図る。				
回	講 座 内 容	所 属	講 師		日 程
1	問題解決のためのコミュニケーション技術	東 京 工 芸 大 学	芸術学部長	大島 武	7月22日(水)
2	保護者と子どもとの関係づくり・コーチ ングコミュニケーション・質の高い傾聴 力をつける	シーズ グロース コーチング	代 表 理 事	橋口 奈生	8月6日(木)

◇夏季大学

目 的	各界からの著名な講師から、様々な分野の専門的な知識等を学び、教職員の教養を高める。				
回	講 座 内 容	所 属	講 師		日 程
1	「人を想う」ことの本質と困難を乗り越える「チーム力」	神 奈 川 県 立 病 院 機 構	理事長	阿南 英明	7月21日(火)
2	心に届く言葉の紡ぎ方 ～「言葉にする習慣」と自己表現～	コトワークス 株 式 会 社	代表取締役 コピーライター	さわらぎ 寛子	7月28日(火)
3	「経験」を「自信」に変える。専門家 から学ぶ現代ビジネスマナー講座	人材育成サポートオフィス アクティブ K	代 表	廣山 容子	8月4日(火)

◇学校づくり研修講座

目 的	学校組織力の向上のために必要なことについて理解を深める。				
回	講 座 内 容	所 属	講 師		日 程
1	信頼を築く保護者対応	学校リスクマネジ メント推進機構	代 表	宮下 賢路	7月27日(月)
2	校内研修を動かすファシリテーション 実践講座	湘南学園小学校	校 長	岩渕 和信	7月28日(火)
3	理論と実践で見直す学校OJTと人材育成 の在り方	横 浜 国 立 大 学 教 職 大 学 院	准 教 授	脇本 健弘	7月30日(木)

2 学校組織の活性化と人材育成

職に応じた研修や、訪問支援研修を実施する。

◇校長研修講座

目 的	学校経営及び今日的な教育課題についての理解を深め、円滑な学校経営に必要な資質の向上を図る。				
-----	---	--	--	--	--

回	講 座 内 容	所 属	講 師		日 程
1	『令和の日本型教育』を担う新たな教師の姿を実現するために	千 葉 大 学	副学長・教授	貞広 齊子	7月10日(金)
2	次期学習指導要領を見据えた学校経営と実践	桐 蔭 学 園	理 事 長	溝上 慎一	11月19日(木)

※第1回は校長会連携研修講座として、小・中・特別支援学校長のみ受講

◇副校長・教頭研修講座

目 的	学校経営及び今日的な教育課題についての理解を深め、円滑な学校経営に必要な資質の向上を図る。				
-----	---	--	--	--	--

回	講 座 内 容	所 属	講 師		日 程
1	不祥事防止について	神奈川県教育局 教職員人事課 横須賀南警察署	専 任 主 幹 警 察 官		5月15日(金)
2	次期学習指導要領を見据えた学校経営と実践	桐 蔭 学 園	理 事 長	溝上 慎一	11月19日(木)

◇新任校長研修講座

神奈川県の新任校長研修講座と横須賀市の校長研修講座を受講する。

◇新任教頭研修講座

目 的	自校の学校経営を円滑に推進するために必要な資質の向上を図る。				
-----	--------------------------------	--	--	--	--

回	講 座 内 容	所 属	講 師		日 程
1	ゲートキーパー養成研修	未 定			未 定

※上記以外に、神奈川県の新任教頭研修講座と横須賀市の副校長・教頭研修講座を受講する。

◇総括教諭研修講座

目 的	今日的な教育課題について学び、組織的な学校運営推進担当者としての資質向上を図る。				
-----	--	--	--	--	--

回	講 座 内 容	所 属	講 師		日 程
1	学校組織の活性化と教員間の連携を強めるために総括教諭としてできること	独 立 行 政 法 人 教職員支援機構	審 議 役	島谷 千春	8月25日(火)

◇新任総括教諭研修講座

神奈川県の新任総括教諭研修講座と横須賀市の総括教諭研修講座を受講する。

◇学校運営研修講座

目 的	学校運営を円滑に推進していく力量を高める。				
-----	-----------------------	--	--	--	--

回	講 座 内 容	所 属	講 師		日 程
1	学校運営における役割	教 育 研 究 所	指 導 主 事		5月15日(金)
2	教育課程編成・組織マネジメント人材育成	教 育 指 導 課 教 育 研 究 所	指 導 主 事		6月12日(金)

3	学校運営に求められるコンプライアンス	教 職 員 課	指 導 主 事		11月6日(金)
4	自校の内外環境の分析と特色づくり	教 育 研 究 所	指 導 主 事		12月11日(金)

※上記以外に、横須賀市の総括教諭研修講座を受講する。

◇初任者研修拠点校指導教員研修講座

目 的	初任者を育成するための拠点校指導教員の職務について理解を深め、専門的な知識や指導技術を習得する。				
回	講 座 内 容	所 属	講 師		日 程
1	拠点校指導教員の役割	教 育 研 究 所	指 導 主 事		4月14日(火)
2	学校組織で初任者を育てる伴走者としての在り方～「聴く力」と「つなぐ力」～	学 校 法 人 湘 南 学 園	元 学 園 長	住 田 昌 治	5月26日(火)
3	初任者に寄り添う指導の在り方と今後の対応	教 育 研 究 所	指 導 主 事		9月29日(火)
4	初任者グループ授業参観・協議会参加	教 育 研 究 所	指 導 主 事		11月

◇初任者研修校内指導教員研修講座

目 的	初任者を育成するための校内指導教員の職務について理解を深め、専門的な知識や指導技術を習得する。				
回	講 座 内 容	所 属	講 師		日 程
1	校内指導教員の役割	教 育 研 究 所	指 導 主 事	(動画視聴)	4月1日～
2	学校組織で初任者を育てる伴走者としての在り方～「聴く力」と「つなぐ力」～	学 校 法 人 湘 南 学 園	元 学 園 長	住 田 昌 治	5月26日(火)
3	初任者に寄り添う指導の在り方と今後の対応	教 育 研 究 所	指 導 主 事		9月29日(火)

◇臨時的任用職員等研修講座

目 的	学習指導、児童・生徒指導、学級経営等について学び、臨時的任用職員等の指導力を育成する。				
回	講 座 内 容	所 属	講 師		日 程
1	指導と評価の基本的な考え方	教 育 研 究 所	指 導 主 事		5月19日(火)
2①	特別支援学級における学級経営・授業づくり	市 立 小 学 校	教 諭	(動画配信)	6月8日(月)
2②	学級経営・子どもとの関係づくり	教 育 研 究 所	指 導 主 事		7月1日(水)
3	共生社会の形成を支えるインクルーシブな実践	国立特別支援教育 総 合 研 究 所	研 究 員	平 沼 源 志	8月24日(月)
4	服務全般	教 職 員 課	指 導 主 事		9月2日(水)
5	児童生徒理解	支 援 教 育 課	指 導 主 事		12月16日(水)

◇教職員支援研修・訪問支援研修

教育研究所指導主事が学校へ訪問して研修を実施する。

サポート研修	学校からの要請に応じて、教員の授業づくりや学級経営の支援などを目的に、教育研究所指導主事がサポートを行う。
校内研修 ファシリテーション	学校からの要請に応じて、校内研修の活性化を図ることなどを目的に、教育研究所の指導主事が訪問し、学校支援を行う。

3 理科の学習環境の充実

(1) 理科研修

◇理科基礎技術研修講座

回	講 座 内 容	所 属	講 師	日 程
1	生物の飼育と授業づくり～昆虫～	自然・人文博物館	学 芸 員	5月20日(水)
2	生物の飼育と授業づくり ～メダカ～	教 育 研 究 所	指 導 主 事 非常勤職員	5月27日(水)
3	自然観察会～相模湾の地層～	自然・人文博物館	学 芸 員	7月30日(木)
4	理科室の安全な管理の仕方と 安全な実験方法	教 育 研 究 所	指 導 主 事 非常勤職員	7月31日(金)
5	博物館見学～学芸員と学ぶ博物館の活用と 展示解説～	自然・人文博物館	学 芸 員	8月26日(水)

◇小学校・中学校理科教材研究講座

回	講 座 内 容	所 属	講 師	日 程
1	上手に活用！実験機器① ～実験機器の使い方&活用法～	内 田 洋 行	スタッフ	7月29日(水)
2	上手に活用！実験機器② ～実験機器の使い方&活用法～	ヤ ガ ミ	スタッフ	8月24日(月)

◇科学教養講座

回	講 座 内 容	所 属	講 師	日 程
1	近年大型化する台風の仕組みや進路 予測を科学の目で見る	横浜国立大学 台風科学技術センター	教 授 坪木 和久	7月28日(火)
2	生物の多様性から見る在来種の保全の 必要性和外来種との上手な付き合い方	国立環境研究所	特命研究員 五箇 公一	7月28日(火)

◇パワーアップ研修講座（理科シリーズ）

回	講 座 内 容	所 属	講 師	日 程
1	指導技術向上研修～サイエンスサマー～	市 立 学 校	教 諭 CST等	7月21日(火)
2	指導技術向上実践研修 ～CST と学ぶ授業づくり～	市 立 学 校	教 諭 CST等	未 定

CST・・・コア・サイエンス・ティーチャー

横浜国立大学が実施する指導力に優れた理科教員を養成するプログラムを受講し認定された教員

(2) 児童生徒の学習意欲を向上させる観察・実験のための理科室整備

①実験観察教材・情報の提供

- ・生物教材（微小生物、メダカ等）の維持管理、提供を行う
- ・生物教材（種ジャガイモ、サツマイモ苗、カイコ、キャベツ苗等）の斡旋、提供を行う
- ・実験教材の研究開発、情報提供、理科教材（常設）の展示を行う
- ・理科実験室、理科機器の貸し出しを行う
- ・実験観察に関する情報提供・協力を行う

②教育情報センターホームページ内の理科関係データ更新・追加

- ・イントラネット 「理科なび」
- ・インターネット 「三浦半島の植物」「三浦半島の地層・地質」「三浦半島の野鳥」

③「薬品管理マニュアル」（令和2年3月改訂）の周知と活用を進める

- ④学校が保管する薬品の管理状況の調査及び指導・助言
 - ・学校の薬品保管状況の視察・及び指導・助言の実施
 - ・「学校が保管する薬品の管理状況の点検及び報告」の実施

(3) 教員の指導力及び児童生徒の学力向上を図る事業の実施

- ①サイエンスサマーの実施
- ②土曜科学教室の実施

4 市内及び他機関との連携による研究及び資料収集

(1) 長期研究員による研究

(2) 学校教育賞の実施

(3) 教育研究所連盟

- ①全国教育研究所連盟、関東地区教育研究所連盟の諸機関との連携による情報収集、調査研究
- ②神奈川県教育研究所連盟の諸機関との連携

(4) 横浜国立大学教育学部附属教育デザインセンターとの連携

(5) 横浜国立大学教職大学院との連携

5 教育に関する資料・情報の収集・発信

(1) 授業づくりのために役立つ指導案や教材教具などの収集・発信

- ・カリキュラムセンター機能の充実を図る

(2) 教育研究所図書資料室の機能の充実

①研修図書の購入

②図書資料の提供と貸し出し、閲覧の充実

- ・教科等のコーナー毎の図書資料の充実 ・新刊本等の紹介
- ・教育関係雑誌・新聞の購入 ・教材用ビデオ・DVD のライブラリーの設置
- ・市立学校の学校要覧・研究紀要等の資料の収集 ・研究会の紀要の配架
- ・他県他市の資料を収集、配架

③その他の資料

- ・教具的民俗資料 ・時代別教科書【江戸、明治、大正、昭和戦前期】

④教科書センター

- ・教科書見本（小・中・高等学校用教科書及び学校教育法附則第9条に基づく図書）を置く
- ・教科書目録、学習指導要領及び学習指導要領解説を置く
- ・教科書採択に係る教科書展示会を行う

⑤レファレンスサービス（図書資料・情報に関する問い合わせへのサービス）

⑥資料提供（令和8年度刊行予定の定期刊行物）

- ・「教育研究所要覧 令和8年度版」
- ・「教育研究所所報 86号」

(3) 教育情報センターの充実（教育情報の蓄積、共有化）

- ①イントラネット（学校限定）での情報発信
- ②インターネットでの情報発信

(2) 人権教育担当

【目標と方針】

1 教職員の人権意識の向上を図り、人権教育を推進する。

- (1) すべての学校すべての地域において、人権尊重の精神の涵養を目的に、組織的、計画的に推進されるよう、推進体制の整備・充実を図り、積極的な推進に努める
- (2) 学校教育においては、児童生徒の発達段階に即しながら、各教科等の特質に応じ、学校の教育活動全体を通じて、人権尊重の理念について理解を促すように努める
- (3) 指導者の養成及び研修については、計画的に実施し、資質の向上に努めるとともに、その活用を図る
- (4) 推進に当たっては、学校や地域の実情等に応じ、人権に関する現状を正しく把握して取り組むとともに、教育の中立性の確保に努める

【具体的な活動】

1 研修の実施

(1) 人権教育担当者研修

目 的	人権意識の涵養と人権教育への理解を深める。				
回	講 座 内 容	所 属	講 師		日 程
1	人権教育の基本理念	教 育 研 究 所	指 導 主 事		5月27日(水)
2	インターネットにおける人権問題について考える	静 岡 大 学	准 教 授	塩 田 真 吾	7月24日(金)
3	人権教育研究校研究授業公開	田 戸 小 学 校	—	—	9月16日(水)
4	人権運動団体研究大会及び講演会の参加	—	—	—	—

(2) 人権教育指導者養成研修

市内13～15校を対象とし、年間3回、2年計画で、全6回の研修を行う。

目 的	人権教育を積極的に推進する教員の育成を図る。
-----	------------------------

〈令和8年度〉

回	講 座 内 容	所 属	講 師		日 程
1	人権教育の指導の在り方	教 育 研 究 所	指 導 主 事		7月1日(水)
2	子どもと向き合う～部落問題学習 (同和教育)から学んだこと～	神奈川部落史 研 究 会	事 務 局 長	堀 川 憲 雄	8月20日(木)
3	人権教育研究授業に向けて	教 育 研 究 所	指 導 主 事		2月10日(水)

(3) 人権教育訪問研修

学校からの要請に応じて指導主事が訪問し、人権教育の研修を行う。

2 人権移動教室（国際人権センター主催）の実施

3 神奈川県教育委員会主催人権教育研修への参加

4 人権関係諸団体との連携

(3) 管理運営係

【目標と方針】

1 円滑な組織運営を支える事務・連携体制の構築

- (1) 予算の適正かつ計画的な執行管理を徹底する
- (2) 所内各部署および関係各課との緊密な連携を図り、迅速かつ的確な情報の収集・共有・調整を行う
- (3) 法令・規程の遵守（コンプライアンス）を徹底し、事務処理の効率化と適正化を牽引する

2 安全・安心で快適な施設環境の維持管理

- (1) 施設全体の計画的な維持管理と環境整備を推進し、安全・安心な利用環境を確保する
- (2) 老朽化への的確な対応により、教育研究に専念できる快適な施設環境を提供する

【具体的な活動】

1 事務事業の最適化と予算執行の適正管理

- (1) 教育研究所全体の予算執行状況を精緻に把握・管理し、効率的な予算運用を行う
- (2) 教育委員会定例会および市議会に関する情報を迅速に収集・周知し、各種提出資料の取りまとめや調整を遅滞なく遂行する
- (3) 関係各課との連絡調整窓口として、報告書類の作成・発信業務を正確かつ円滑に実施する
- (4) 事務・財務等に関する規程の周知徹底を図り、事務の簡素合理化を推進することで、組織全体のコンプライアンス意識と業務効率を向上させる

2 施設・設備の円滑な運営と環境整備

- (1) 所内外の清掃・点検・整備を計画的に実施し、良好な施設環境と美観の維持に努める
- (2) 施設の老朽化に伴う改修工事や修繕を迅速・的確に実施し、安全かつ機能的な研究環境を整備する
- (3) 研修用備品等の計画的な更新を行うとともに、定期的な物品棚卸を実施し、不用品の適正な処分（断捨離）によりスペースの有効活用を図る

（４）教育情報担当 ICT 活用推進担当

【目標と方針】

１ 学校における「教育の情報化」を推進する

- （１）１人１台端末の活用を推進する
- （２）校務に係る研修を見直す

【具体的な活動】

１ 学校における「教育の情報化」の推進に係る各種研修等

- （１）１人１台端末の活用の推進に係る研修

◇情報モラル研修

目 的	情報モラルやデジタルシティズンシップ教育などについて理解し、児童生徒が自律的に端末を活用する資質・能力を育む指導力の向上と教育の情報化の推進を図る
-----	---

回	講 座 内 容	所 属	講 師	日 程
1	創造性を育むデジタルシティズンシップ教育	横浜国立大学	教 授 山本 光	7月30日(木)

◇ICT 活用実践研修講座（選択研修）

目 的	情報教育上、必要な基礎的知識及び技能に関する具体的内容を取り上げ、指導力の向上とともに教育の情報化の推進を図る
-----	---

回	講 座 内 容	所 属	講 師	日 程
1	Google スタートアップ研修（基本操作）	教育情報担当	指 導 主 事	7月23日(木)
2	Google スタートアップ研修（活用）	教育情報担当	指 導 主 事	7月23日(木)
3	創造性を育むデジタルシティズンシップ教育	横浜国立大学	教 授 山本 光	7月30日(木)
4	学習支援ソフト基本研修（基本操作） ～初心者向け～	メ ー カ ー	ス タ ッ プ	8月21日(金)
5	学習支援ソフト基本研修（活用） ～初心者向け～	メ ー カ ー	ス タ ッ プ	8月21日(金)

※ICT 活用実践研修講座①②④⑤については、希望により対面可

◇パワーアップ研修講座（選択研修）

目 的	学習支援ソフトを効果的に活用する方法を学ぶ
-----	-----------------------

回	講 座 内 容	所 属	講 師	日 程
1	学習支援ソフトの活用について	メ ー カ ー	ス タ ッ プ	5月19日(火)
2				6月16日(火)
3				10月27日(火)

◇学習支援ソフト研修会（学校単位の希望研修）

目 的	学習支援ソフトを効果的に活用する方法を学ぶ
-----	-----------------------

回	講 座 内 容	所 属	講 師	日 程
－	学習支援ソフトの活用方法について	メ ー カ ー	ス タ ッ プ	5 月 ～ 8 月 下旬まで

※希望により各学校でのオンライン研修可

（２）操作解説動画の提供

教職員の働き方改革の推進、および必要な時にいつでも内容を確認できる環境を整備するため、従来の集合研修等に代わり、操作解説動画の提供を行う。これにより、各校の状況に合わせて柔軟かつ繰り返し視聴することが可能となる。

	動画内容	提供時期
1	年度始めのクラス設定、教科設定、クラス編成など	4月上旬
2	健康診断票作成	5月上旬
3	通信簿作成	6月下旬
4	調査書作成	9月中旬
5	年度末から新年度にかけて（指導要録作成及び卒業処理を含む）	2月上旬

(5) 教育情報担当 ICT 環境整備担当

【目標と方針】

1 学校情報基盤を整備及び保守管理し、学校における教育の情報化を推進する

- (1) ICT 環境の整備
- (2) よこすか教育ネットワーク (YKNet) 環境の保守管理
- (3) 各学校に配備している ICT 機器の保守管理
- (4) 校務支援システムの保守管理
- (5) GIGA スクール構想に関する環境の保守管理

2 横須賀市教育情報センターホームページ等を保守管理し、教育委員会内外への情報発信を推進する

【具体的な活動】

1 学校情報基盤の整備及び保守管理

- (1) ICT 環境整備
 - ・校務支援システムの更改を行う
 - ・校務用パソコン (教員用パソコン) の更改を行う
 - ・電子黒板の追加導入を行う
 - ・1人1台端末の更改を行う
 - ・GIGA スクールネットワーク機器の増設と更改を行う
 - ・総合高校のネットワーク機器の更改を行う
- (2) よこすか教育ネットワーク環境の保守管理
 - ・ネットワーク機器、管理サーバ等の調達業務と保守管理を行う
- (3) 各学校に配備している ICT 機器の保守管理
 - ・電子黒板、校務用パソコン等の調達業務と保守管理を行う
- (4) 校務支援システムの保守管理
 - ・校務支援システム保守事業者と調整し、契約事務を行う
 - ・教職員・児童生徒の情報を登録し、名簿管理を支援する
- (5) GIGA スクール構想の保守管理
 - ・1人1台端末、管理サーバ等の調達業務と保守管理を行う

2 横須賀市教育情報センターホームページ等の保守管理

- ・横須賀市教育情報センター及び教育委員会ホームページの保守管理を行う
- ・「よこすかスクールネット (市立学校のホームページ集)」の保守管理を行う

6 沿革

昭和	23 年 9 月 1 日	横須賀市立田浦中学校内に創設
	24 年 6 月 17 日	横須賀市坂本町 1-19 に移転
	26 年 9 月 15 日	教育相談室を開設
	26 年 10 月 2 日	神奈川県下教育研究所連絡協議会を担当開催・加盟
	28 年 11 月 16 日	視聴覚教材ライブラリーを開設（58 年度中央図書館に移管）
	31 年 7 月 1 日	教科書センターを開設
	36 年 4 月 1 日	理科教育センターを開設（60 年度理科教育研究室に改称）
	39 年 4 月 1 日	「横須賀市教育研究所条例」施行
	39 年 10 月 20 日	『研究所月報』創刊号を創刊
	44 年 3 月	『戦後横須賀教育史』を創刊
	55 年 11 月 29 日	創立 30 周年記念式典 新教育研究所建設構想確定
	59 年 4 月 1 日	学校・学級経営相談を開設 ビデオテープコーナーを整備
	60 年 1 月 4 日	横須賀市久里浜 6-14-3（現在地）に新築移転開所
	60 年 4 月 1 日	電話相談を開設 第一回研究発表会を開催
平成	2 年 4 月 1 日	情報教育研究室を開設
	3 年 4 月 1 日	訪問相談を開設
	6 年 3 月	『横須賀市教育史』を刊行
	6 年 4 月 1 日	専任所長制となる（4 月） 学校・学級経営相談を新設
	7 年 4 月 1 日	『教育研究所月報』を A 判化・マークをカラー化
	8 年 10 月	情報教育広域連携システム導入
	9 年 7 月 7 日	適応指導教室を開設
	9 年 9 月 26 日	教育情報センター・ホームページを開設、所内 LAN を整備
	10 年 12 月 4 日	第 45 回神奈川県教育研究所連盟研究発表大会を開催
	11 年 9 月 1 日	教育研究所創立 50 周年記念誌を刊行、記念展示会を開催
	11 年 9 月 22 日	学校インターネットの研究開始
	11 年 10 月 1 日	学校インターネットアドバイザー事業開始
	12 年 9 月 1 日	中学校全校がインターネットで接続
	13 年 4 月 1 日	中核市への移行に伴い、教員基本研修事業を実施
	13 年 12 月 10 日	地域イントラネット事業完了
	14 年 1 月 4 日	教育情報デジタル化と教育資料データベース化事業開始
	14 年 4 月 1 日	3 セクション制に移行、教育相談セクションは市総合福祉会館 4 階に移設
	15 年 8 月	市内各小・中学校パソコン教室に 42 台を設置完了
	15 年 9 月 2 日	エルネット（教育情報衛星通信ネットワーク）設備
	16 年 3 月 31 日	学校インターネット事業終了
	16 年 4 月 1 日	スクールデジタルコンテスト事業開始
	16 年 7 月 1 日	「スペースゆうゆう坂本」開設
	17 年 4 月 1 日	学校インターネットアドバイザー事業（市予算）を実施
	17 年 4 月 1 日	授業力向上支援相談員派遣事業を開始
	18 年 4 月 1 日	学校インターネットアドバイザー事業から IT 学習サポート事業に移行
	20 年 4 月 1 日	教育相談事業がこども育成部こども青少年支援課に、不登校対策を学校教育課に移管
	20 年 4 月 1 日	調査研究セクション新設
	21 年 3 月	市内 37 小学校の全普通教室に校内 LAN、PC、プロジェクタ等を整備
	21 年 4 月 1 日	教育情報担当課新設、担当課長就任
	22 年 4 月 1 日	セクション制を廃止、授業力向上支援相談員を指導力向上学級改善支援員と改称

平成	22 年 9 月	市内 10 小学校、24 中学校、2 特別支援学校の全普通教室に校内 LAN、PC、プロジェクタ等を整備
	23 年 3 月	『教育研究所月報』を廃刊
	23 年 4 月 1 日	指導力向上学級改善支援員派遣事業を支援教育課に、学校教育賞、研究会、教育史を総務課教育政策担当に、学校図書館活性化事業、学校図書館業務を教育指導課に移管 校務支援システム運用開始、総務・ICT 基盤整備、校務支援システム運用・推進、研修・研究・教育の情報化推進の 3 班体制開始、よこすか教師塾開校
	24 年 4 月 1 日	係制への移行に伴い、研究・研修担当、ICT 活用推進係、管理運営係を設置 総務課教育政策担当から教育史が移管
	24 年 4 月 1 日	教育研究所 65 周年記念誌の刊行準備、学校教育賞が総務課教育政策担当から移管 学校・学級経営相談は子ども青少年支援課へ移管
	26 年 1 月	65 周年誌発刊、市内 23 校 PC 教室・図書室用 PC の更改
	26 年 3 月 31 日	情報化支援員事業が終了
	26 年 4 月 1 日	ICT 活用推進係を 2 つに分け、研修班、調査研究班、学校情報基盤整備係、管理運営係の 4 部署で運営を始める。
	27 年 4 月 1 日	学校情報基盤整備係が総務課付となり教育情報システム室と改められた。それに伴い、研修班、調査研究班、管理運営係の 3 部署で運営を始める。
	27 年 10 月 13 日	第 62 回神奈川県教育研究所連盟研究発表大会を開催
	28 年 3 月 31 日	6 つの研究会は、2 年間の研究を終了
	28 年 4 月 1 日	研修班、調査研究班、管理運営係の 3 部署で運営を始める。教育情報システム室は、2 年目を迎える。
	28 年 8 月	教育公務員特例法の一部を改正する法律により、基本研修等の研修体系の見直しを図る。
	12 月～1 月	小学校 9 校と中学校及び特別支援学校の普通教室用 PC をタブレット型に変更する。
	29 年 4 月 1 日	研修班、調査研究班の名称を、それぞれ研修担当、調査研究担当に改称 教職 10 年経験者研修を、中堅教諭資質向上研修と改称 総括教諭学校運営基礎研修講座開始
	30 年 3 月 31 日	6 つの研究会は、研究を終了
	30 年 4 月 1 日	総務課教育情報システム室の事務分掌を、教育政策課が所管する。 総括教諭学校運営基礎研修講座を学校運営基礎研修講座と改称
	31 年 3 月 31 日	学力向上研究会は、5 年間の研究を終了
令和	2 年 3 月 31 日	研究会会業務の終了
	3 年 3 月 31 日	GIGA スクール構想による児童生徒 1 人 1 台端末及び高速ネットワーク整備
	3 年 4 月 1 日	教育研究所内に教育情報担当を新設し、教育の情報化を推進するための組織改正を行う 教育指導課と教育研究所教育情報担当の併任人事実施 人権教育事業が教育指導課から教育研究所へ移管
	5 年 4 月 1 日	教育公務員特例法の一部改正に基づき、教員の研修履歴の記録を開始
	5 年 10 月 31 日	第 70 回神奈川県教育研究所連盟研究発表大会を開催
	6 年 4 月 1 日	教職 20 年経験者研修講座開始
	6 年 7 月	中学校に電子黒板が導入
	7 年 4 月 1 日	全国教員研修プラットフォーム（Plant）の横須賀市での運用を開始
	8 年 3 月 13 日	『横須賀市教育史＜昭和後期～平成＞』を刊行

7 業務分担

所 長	管理・運営、組織、関係機関連絡調整等
係 長	管理運営に関すること、連絡調整等
主 査 指 導 主 事	研究所業務全般、教育研究所連盟に関すること、人権教育に関すること、連絡調整等
研修・調査研究担当主査指導主事	調査研究、研修に関すること、連絡調整等
研修・調査研究担当指導主事	調査研究、研修に関すること、理科教育に関すること等
〃	調査研究、研修に関すること等
〃	調査研究、研修に関すること等
〃	調査研究、研修に関すること等
主 任	施設管理、予算・決算及び契約・支出関係事務
担 当 者	庶務全般、予算・決算及び契約・支出関係事務
会計年度任用職員	研修補助、よこすか教師塾等
〃	理科教育の教材教具の整備、よこすか教師塾等
〃	教育史資料収集、図書資料整備、よこすか教師塾等
〃	研修事務全般等
〃	図書資料整備、研修補助等
〃	研修補助および運営事務等
長 期 研 究 員	教育課題に対する長期研究（市内小学校教諭）

【教育情報担当】

教育情報担当課長	管理・運営、組織、関係機関連絡調整等
ICT環境整備担当主査	教育の情報化推進のための基盤整備に関すること
ICT活用推進担当指導主事	教育の情報化推進に関すること
〃	教育の情報化推進に関すること
副 主 査	教育の情報化推進に関すること
主 任	校務支援システム、教育用PC・校務用PC管理等
〃	校務支援システム、教育用PC・校務用PC管理等
〃	校務支援システム、教育用PC・校務用PC管理等
〃	校務支援システム、教育用PC・校務用PC管理等
会計年度任用職員	教育情報化支援に関すること
〃	教育情報化支援に関すること
〃	教育情報センターネットワークサイト管理に関すること





あなたが好き 私が好き 横須賀が好き と誇れる人づくり

令和8年度（2026年度）

要 覧

編集・発行 横須賀市教育研究所

〒239-0831 横須賀市久里浜 6-14-3

TEL 046-836-2443

FAX 046-836-2445

E-mail admini@kenkyu.yknet.ed.jp

URL https://b-boardofedu.yokosukacity.andteacher.jp/modules/hp_jpage12/

代表者 杉戸 美和
